

提言書の要望事項に対する市の考え

凡例表

○	対応可能なもの。
△	部分的または条件付きで対応可能なもの。
▲	対応困難なもの、手法の見直し等で検討の余地があるもの。
×	対応不可のもの。
???	用途の再確認が必要なもの。 市で検討・調整が必要なもの。

I. コンセプト・機能	対応可否	市の考え・検討課題
1 地域コミュニティ		
(1) 地域住民の活動拠点となる施設	○	
(2) 多世代の集うコミュニティ施設	○	
(3) 1階は外から見えて、気楽に立ち寄れる施設	○	
(4) 住民の絆を一層強くできる施設	○	
2 防災		
(1) 地域の防災拠点にできる施設	▲	指定避難所となつている片瀬中学校の拡張機能とする方向で防災安全部と検討中
(2) 災害時の非常通信手段のバックアップ機能を有する施設	▲	非常通信設備は、片瀬中学校の無線設備で対応を想定。
(3) 無線通信機能設備を備えた施設	▲	同上
3 福祉		
(1) 福祉避難施設	▲	福祉避難所（一次・二次）としては、人の配置が必要となるため不可。ただし、指定避難所（片瀬中学校）の拡張機能として、一時的に配慮の必要な方を受け入れる場合、最低限必要な設備については検討。
(2) 乳幼児対応施設	△	キッチン給湯＋粉ミルクによる対応を想定。授乳希望の場合は事務室等（＋カーテン）を施設して兼用。おむつ交換台はみんなのトイレ内に検討。本当に必要か要検討。
(3) 地域福祉機能と市民が活動できる機能を備えた施設	???	既存のCSWによる相談受付を継続か。

(4) 住民の高齢化を見据えた施設（運動用具）	▲	屋外の大型運動用具はNG。屋内のものは委託料の中での購入であればOK。
(5) バリアフリーを取り入れた施設	○	
4 環境		
(1) 省エネを考慮した施設（太陽光発電・蓄電設備）	▲	防災安全部との調整結果： 太陽光発電・蓄電設備は地区防災拠点（各市民センター）に1つの考え。

II. 諸室・スペース

1 事務室兼市民活動作業室（市民が印刷・製本等を行う作業場として利用）	△	新たな運用の可能性として、NPO法人等が常駐する場合には事務室があったほうが良いか。諸室構成次第。
土足可	▲	汚れやすくなるほか、日常的な清掃が必要が必要。
床暖房	×	空調で対応。経費的にも困難。
2 オープンスペース（地域の人々が集い、多目的に利用）	▲	諸室構成次第だが広いスペースは確保できない見込み。 屋外スペースの活用を検討。
土足可	▲	II - 1と同様。
事務所から見える場所・隣接	△	事務室の設置有無、配置による。
乳幼児、中高生、高齢者が集える	△	
情報共有スペース	???	具体的にどのようなものか。
多目的広場の設置	???	具体的にどのようなものか。
床暖房	×	空調で対応。
3 調理室（料理教室や料理活動サークルで利用）	△	簡易キッチンであれば可。石原谷市民の家のように部屋にせず、共用部に設置する案も検討。
調理台	▲	作業台はスペースの有効活用のため可動型のテーブルで対応を検討。
キッチン設備2セット	△	1セットとする。
土足可	▲	II - 1と同様。
オープンスペース又は会議室と隣接し、接続できる	△	間取りによる。可動間仕切りの活用を検討。
床暖房	×	空調で対応。

4 ホール兼大会議室（集会や地域のイベントに利用）	○	
100～150人収容可能	△	ホールは75㎡程度を想定。 消防法上の収容人員算定では75㎡で150人収容となりますが、机・椅子を置く場合は、60人程度になる見込み。 ※この場合、3人掛机×20台・椅子×60脚、収納場所が必要。必要性を検討。
可動間仕切り可能	○	
椅子・机格納場所	○	
避難施設に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
床暖房	×	空調で対応。
5 和室（茶道、華道、日本舞踊等のサークル、子連れの集まりに利用）	△	部屋数が限られる中で本当に必要か検討が必要。
大きめな畳部屋	△	同上。
分割可能	▲	和室の広さ次第で検討。
福祉避難施設に転用可能	▲	I-3-(1) 同様。
下駄箱	???	具体的にどのようなものか。
床暖房	×	空調で対応。
6 相談室兼会議室（CSW・地域包括支援センター・福祉相談等の相談室に利用）	▲	大会議室又は事務室の利用を想定。
会議室に転用可能	▲	同上。
避難施設に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
床暖房	×	空調で対応。
7 会議室	○	大ホールを間仕切ること兼用。
土足可	▲	II-1と同様。
分割可能	○	可動間仕切りで対応可能。
相談室に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
避難施設に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
床暖房	×	空調で対応。

8 視聴覚室兼会議室	▲	会議室で対応。視聴覚機能のつちスクリーンや防音は壁材で簡易的に対応を検討。 プロジェクターやスピーカー等は運営委員会の手筈で対応
防音室（消音機能を備えた部屋）	▲	有孔ボードなどによる簡易的な防音であれば対応を検討。
土足可	▲	Ⅱ-1と同様。
相談室に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
避難施設に転用可能	???	具体的にどのような想定か。
床暖房	×	空調で対応。
9 多目的トイレ	○	みんなのトイレの設置を想定。
雨水使用	△	雨水貯留槽の設置を検討。ただし、貯留槽とトイレの接続はNG。 断水時は貯留槽の水を運んで使用。
10 シャワー室・浴室（福祉避難施設用）	×	一時的な滞在を想定。必要が生じたときは、福祉避難所へ移送。
11 事務所（湯沸し室付き）	△	Ⅱ-1の事務所と同様。湯沸しは電気ポット等で対応。
12 幅の広い階段	×	平屋を想定。
13 スロープ非常出口（車いす使用可能）	○	出入口にスロープの設置を想定。
14 屋根付き乗降場（雨天時の介護タクシー利用）	▲	駐車スペースでの乗降りを想定。雨天時は傘で対応。
15 駐車場（数台）	○	朝・晩のゲートの開け閉めが必要か。

Ⅲ. 設備・備品

1 エレベーター（車いす使用可能）	×	平屋建てを想定。
2 AED（大人・小人）	▲	常駐職員がいるなど、昼間、入口を解放できる施設に設置している。
3 健康増進器具備品（ウォーキングマシン等）	▲	倉庫に入る程度の簡易的なものであれば検討。
4 太陽光発電設備（屋上・側面利用、電源の多様化）	▲	I-4-(1)と同様。
5 蓄電設備	▲	I-4-(1)と同様。
6 携帯電話充電器設備	▲	災害時の電源として、蓄電設備と同様の考え。
7 自家発電設備（1週間分）	×	防災計画上で地区防災拠点本部に配備の考え。
8 冷暖房設備	○	各部屋にエアコンの設置を想定
9 無料WIFI	△	WIFI通信機器の設置を検討。ただし通信料は現行の委託料の中で対応。
10 ネット接続PC	×	公共施設に市民用の共用PCを設置していない。
11 無線通信機能設備	▲	I-2-(2)と同様。
12 防犯カメラ	×	セコムで対応を想定。
13 キッチン設備（2セット）	△	1セットは設置可能。
14 自動掃除機（夜間電力使用）	×	運営委員会の委託料の中で対応。
15 机（折り畳み式、軽量、キャスター付き、会議室3室用）	△	原則、使えるものは現施設から移転。不足があれば購入を想定。
16 床暖房（エコキュート使用、各室）	×	空調で対応。
17 屋外バスケットゴール	×	騒音が大きく、また、柵で囲った専用スペースが必要となるため。
18 卓球台	△	現施設にあれば移転。なければ購入を検討。
19 貸ロッカー（地域団体・自治会用）	△	必要性を要検討。
20 外部倉庫（地域団体、自治会用）	△	設置場所としてはOK。倉庫そのものは地域団体・自治会で用意。
追1 雨水・貯水タンク	△	雨水貯留槽の設置を検討。断水時のトイレ用水として活用か。

IV. 運営

1 18歳未満（中高生）の利用を踏まえた片瀬地区全体で支える運営、「見守り」	△	常駐職員がいれば見守り可能。
2 有償ボランティアの配置（受付業務を週4日3名に委託中、財源は5自治会の協力金）	△	有償ボランティアの配置は継続するか。運営委員会で対応を検討。
3 「地域の縁側」として運営	△	地域の縁側の実施場所としてニーズがあれば対応。

18%	○	14
28%	△	22
33%	▲	26
22%	×	17